

ドロップ・サイト・デیلیー、10月19日：国連、ガザ地区のパレスチナ人50万人への食糧支援を削減；テキサス州で今年に入って7人目のICE収容者が死亡；フランスで大規模抗議デモを受け2,400人を逮捕

脇浜義明訳 *脚注は訳注

イエメン

***アンサール・アッラー、イエメンのシャブワ県にある軍事キャンプを攻撃、53人死亡、少なくとも200人が負傷：**地元当局によると、シャブワ県のアル・アラム軍事キャンプがアンサール・アッラーの攻撃を受け、少なくとも53人の兵士が死亡、200人以上が負傷した。

・イエメン全土で戦闘が激化。アンサール・アッラーの軍事報道官によれば、過去24時間にサウジアラビア軍は空爆とミサイル攻撃を110回行った。

・サウジアラビアの支援を受けるイエメン政府の軍は、アンサール・アッラーへの反撃として、タイズ市南のミスラへ進軍したと発表した。タイズ市はアンサール・アッラー部隊によって包囲されていて、国連はタイズ市では食料供給が減少していると警告している。

***サウジアラビアのイエメンの住宅空爆で、子ども5人を含む少なくとも10人が死亡：**イエメンのサアダ県の民家への、サウジアラビア主導の連合軍の空爆と見られる攻撃で、子ども5人を含む少なくとも10人が死亡した。地元メディアの報道によると、18日にサアダ県の民家が空爆され、子ども5人、女性3人を含む少なくとも10人が死亡した。

・サヌアの全国人権委員会は、死者10人、負傷者23人、その大半が女性と子どもであると報告した。

・攻撃後の映像では、男たちが手で瓦礫を掘って犠牲者を探す姿が映っている。サウジアラビアはこの攻撃についてのコメントを出していない。

***エジプト、サウジアラビア支援の軍事介入に関して議会に承認を求める：**ロイター通信によると、アンサール・アッラーのサウジアラビアへの攻撃が激化する中、エジプトのアブドルファターハ・エル・シーシ大統領は、サウジアラビアへの軍事支援を承認するための緊急議会招集を求めた。

・当初は18日に議会で採決される見通しだったが、19日と20日に議論が継続されることになった。エジプトは2015年にもイエメンにおける戦闘でサウジアラビア主導の連合軍に参加したが、戦闘における役割は限定的なものにとどまっていた。

***UAEがサウジアラビアのイエメンでの戦闘の支援を再開するとの報道、サウジアラビアとUAEの高官が会談：**サウジアラビアのハーリド・ビン・サルマーン国防相とUAEのムハンマド・ビン・ザーイド・アンナハヤーン大統領が19日アブダビで会談した。ビン・サルマーン国防相によると、2人は「地域情勢の進展、協力関係、湾岸諸国の共同行動の強化」について協議した。・この会合は、UAEがイエメンの対アンサール・アッラー勢力に資金提供の再開に合意し、サウジアラビアが空爆で対アンサール・アッラー勢力を支援するという報道があった中で開かれた。

***米国、中東にいる米国人に領空閉鎖の可能性を警告：**米国政府は18日、中東全域に滞在する米国人に、フライトのキャンセル、領空の閉鎖、敵対行為の急激なエスカレートの可能性があると、安全に関する警告を出した。対象地域は、サウジアラビア、UAE、クウェート、ヨルダン、バーレーン、オマーン、イラン、カタール、イラク、レバノン、イエメン、イスラエルである。

・また、イランおよびイランと連携する勢力が米国の外国における権益拠点を攻撃する可能性も警告した。

パレスチナ

***国連食糧機関、パレスチナ人50万人分の支援を削減：**国連世界食糧計画は、資金不足のため、ガザ回廊への食料支援を大幅に削減すると発表した。これによって50万人のパレスチナ人への月次食料支援が打ち切られる。

・世界食糧計画は配給量を半分に減らし、1日あたり25万食を提供していた暖かい食事を15万食に削減する。イスラエル軍が設定した「イエローライン」附近などのアクセスが困難な地域に居住する人々に対しては、温かい食事の提供を毎日から隔日に変更される。

・ガザ回廊の人口の推定67%が深刻な食料不安に直面しており、そのうち20万人が飢餓による死亡を防ぐために緊急支援が必要な状態にある。

・この支援削減は、イスラエルが商業輸入の封鎖を5日連続で行い、生活必需品の不足と価格高騰が続き、特に小麦粉、卵、玉ねぎのような基本的食料品の価格が急上昇する中で、行われた。

***ガザ回廊死傷者：**ガザのパレスチナ保健省によると、過去24時間でガザ回廊各地で5人のパレスチナ人が死亡した。4人は新たなイスラエルの攻撃で、1人は以前の攻撃で負った傷が原因で死亡した。

・週末には、イスラエル軍のガザ回廊全域への攻撃で、子ども3人を含む少なくとも12人のパレスチナ人が死亡し、68人が負傷した。17日の土曜日、ガザ回廊中部のデイル・アル・バラフ南部で、学校から帰宅したばかりのモハンメド・アブ・ハンマド（14歳）がイスラエル軍の攻撃で死亡した。

・彼の死について、「帰宅した椅子に座って5分も経たないときでした」と、アフメド・ムハレブがドロップ・サイトのモハンメド・アフメド記者に語った。「彼らは、通学カバンを背負ったままの少年に向かってミサイルを撃ち込んだのです。アフメド記者の[取材映像](#)は、Drop Site @DropSiteNews, Oct 18, 2026 で見てください。

・2023年10月7日以降の累計死者数は7万4480人、負傷者は17万5539人となった。いわゆる「停戦」初日である2025年10月11日以降のイスラエルの停戦違反のガザ攻撃で、少なくとも1522人が殺害され、5421人が負傷させられた。瓦礫の下から回収された遺体は839体である。

***占領地西岸地区で、入植者らがパレスチナ人を攻撃、イスラエル軍が数百本の果樹を根こそぎ引き抜いた：**

・ナブルスでは、19日、WAHA 通信によれば、入植者らがジャルードにあるパレスチナ人の学校に乱入しようとし、生徒たちは避難した。また、入植者らは近くでオリーブの収穫作業をしていた人々を攻撃した。カリユートでは、入植者の襲撃の後、イスラエル兵がパレスチナ人男性の肩を撃った。

・ヘブロンでは、イスラエル軍はヘブロン北部で農業施設を破壊し、300本以上の果樹を根こそぎにし、2.5エーカーの農地をブルドーザーで整地した。マサフェル・ヤッタでは、入植者の暴力を記録していたパレスチナ人男性1人と外国人活動家2人を拘束した。スシヤでは学校へ一台の車両で通勤していた教師たちをイスラエル兵らが足止めし、1人を逮捕、車を押収した。

・ラマッラーでは、トゥルムス・アヤで、入植者が車両に放火し、民家2軒を焼き払おうとした。彼らはパレスチナ系アメリカ人に暴行して負傷させた。デイル・アブ・マシャルでも、入植者の襲撃があり、パレスチナ人男性が負傷した。

・ジェニンでは、イスラエル軍は農業施設と商業施設に対して20件もの解体命令を発令し、アル・アルカでは入植者らが農民を土地から追い出した。

***入植者が西岸地区でオリーブ収穫を視察していた欧州外交官一行を襲撃：**18日、ラマッラー北東にあるパレスチナ人キリスト教徒の村タイベ近郊で、覆面姿の入植者が全地型対応車（ATV）に乗って欧州外交団とパレスチナ人農民を襲った。欧州人一行は、エルサレム駐在のフランス領事を含むフランス、ベルギー、ポーランドの外交官や自治体市長らである。

・イスラエル軍ラジオ放送によると、入植者たちは外交官車両を取り囲み、身分証の提示を求めた後、石を投げつけ、ベルギー領事館の車両の窓を割った。映像には、棍棒を持った男たちが外交官を襲い、外交官の一人が地面に倒れているのが映っている。

・この襲撃は、入植者らが収穫期のパレスチナ農民を襲って、殴打し銃撃し、取材していたワシントン・ポスト紙のハイディ・レヴィンに暴行した翌日に起こった。この襲撃に関する記事は Abu Fakah, ["The Palestinians Who Rescued Heidi Levine"](#)、Infinite Jaz, October 16, 2026 を読みたい。

・この2件の欧米人襲撃に関し国際社会からの批判が高まり、イスラエル治安部隊は、事件に関与した容疑者10人を逮捕したと発表した。入植者がパレスチナ人攻撃で逮捕・起訴されることはめったにない。

¹ フランスの自治体の市長。

イラン

***ロシア外相がイラン訪問：**イラン外務省のイスマイル・バガイ報道官によると、ロシアのセルゲイ・ラブロフ外相は19日テヘランを訪問し、二国間関係、地域情勢、国際情勢について協議することになっている。ロシア国営通信によると、ラブロフ外相は「米国とイスラエルによって引き起こされた中東地域の緊張を緩和する」ことに向けたロシア政府の取り組みを説明する。

- ・この訪問は、モスクワとワシントンの間の協議とラブロフ外相の湾岸協力会議加盟国の閣僚級会議に出席したことに続くものだ。

- ・ロシア政府によると、10月9日に行われたプーチン大統領とトランプ大統領の電話会談では、プーチンが紛争解決に向けたイランの姿勢を伝えた。

***石油タンカーがホルムズ海峡近くで機雷に接触して炎上と、イラン革命防衛隊が発表：**イラン革命防衛隊海軍によると、19日、石油タンカーがホルムズ海峡南方の海域で機雷に接触、機関室で爆発と火災が発生した。

- ・イラン革命防衛隊は、同タンカーが航行・測位置システムのスイッチを切って、許可していない南側の航路を通って海峡から脱出しようとしていたと主張した。

***パキスタン、主要国境通路2か所でのイランとの交易を停止：**パキスタンは、ガイド・リムダン国境通路とタフタン国境通路を通じたイランとの交易を一時的に停止した。これによって、液化石油ガス、コメ、果物などの商品を積んだトラック数百台が国境の両側で立ち往生している。

- ・パキスタン側は、安全保障上の懸念、密輸防止、行政手続きの改善を停止理由に挙げたが、イラン外務省は「技術的な問題」が原因だと説明した。両国とも、通常の業務の再開に向けて協議中だと述べた。

- ・米国とイスラエルによるイラン戦争勃発後、パキスタンとイランは、税関手続きの簡素化や新輸送ルート開発など、国境貿易を促進する措置を導入した。8月には、両政府は国境通路を24時間体制で開放する方向で協力することで合意した。

レバノン

***停戦にもかかわらずイスラエル軍の南レバノンへの空爆、砲撃、機銃掃射が続く：**イスラエル軍機はナバティエ地区のクファール・ティブニットを夜間空爆し、イスラエル軍部隊はビント・ジュベイル地区のベイト・ヤフーンで大規模な破壊工作を行い、ブラアシットを砲撃した。

- ・レバノン国営通信によると、イスラエル軍はティルス（スール）地区のマンスーリを砲撃し、ベイト・アッシャドとマンスーリに向けて機銃掃射を行った。

- ・19日朝、イスラエル軍はビント・ジュベイル地区のワディ・ベイト・リフとスレビネに向けて機銃掃射を行った。

米国のニュース

***トランプ大統領、10月27日のイスラエルの総選挙を数日後に控え、ネタニヤフ首相支持を表明：**トランプ大統領は18日、イスラエルのネタニヤフ首相を「偉大な戦士首相であり、イラン・イスラム共和国との戦いにおける偉大な平和のパートナー」と呼んで、彼の支持を表明した。トランプは数か月間ネタニヤフ支持表明を控えていて、今月初めのタイム誌のインタビューでは自分は「もう政治には関わらない」と言っていた。

- ・トランプはネタニヤフ支持表明のSNS投稿の中で、「イランが迅速に態度を改めなければ」イランに対する「仕事を完了させる」と再び脅迫した。そして、もしイスラエルがビビ（ネタニヤフ）以外を首相に選んだ場合、「米国だけでその仕事をしなければならなくなるが、私はそうするつもりはない」と書いた。

***トランプ大統領、新たに署名した対ロシア制裁措置を、国益を理由に、一時停止：**トランプ大統領は16日、包括的なロシア制裁措置を一時停止する大統領令に署名し、この延期は国益のためだと議会に説明した。トランプは制裁法案に先月署名しており、それが実施される2日前に、停止となった。このロシア制裁法案は、ウクライナから帰国して7月に急死

した故リンジー・グラハム上院議員にちなんで彼の名をつけた法案で、リチャード・ブルーメンソール民主党上院議員と共同で起草され、超党派の多数で可決された。

・この制裁措置は、ロシア政府当局者、銀行、ロシア産エネルギーを輸送する「影の船団」と呼ばれるタンカーなどを標的していた。また、ロシア産石油・ガスを輸入する上位5か国に100%の関税を課すが、ロシア産天然ガスの輸入量が15%以下で、輸入量の削減に努力している国は例外とした。

***FAA、米国・メキシコ国境沿いの無許可無人機の飛行を禁止：**米連邦航空局（FAA）は、米国・メキシコ国境から北に1海里の範囲で地上400フィートまでの範囲で無許可無人機の飛行を一時的に禁止する措置を発表した。4月、FAAと国防総省は、政府が南部国境沿いに高出力レーザーの対ドローン（無人機）システムを使用することを認める協定を結んだ。国防総省は、国境沿いで毎月1000件以上の無人機侵入が発生していると主張しており、米国の治安当局も麻薬カルテルが無人機を使って麻薬を密輸投下したり、密輸ルートを偵察していることに警戒心を強めている。

・2月には、FAAは、税関・国境警備局が安全審査を行わずにレーザーを使用したことで、エル・パソ空港を一時閉鎖した。数日後、軍がレーザーを用いて税関・国境警備局の無人機を撃墜する事件が発生し、このため、FAAはテキサス州フォート・ハンコック周辺の飛行制限区域を拡大した。

***ラレドのICEの収容施設でメキシコ人男性が死亡、テキサスで今年7人目のICE施設内死亡となる：**テキサス・トリビューン紙によると、テキサス州のリオグランデ・プロセッシング・センター内の独房で、17日の午前10時頃、エメリアーノ・アンドラーデ・コバルルビアス（56歳）が意識不明の状態になっているのが発見された。これは、彼の娘とテキサス州選出民主党のヘンリー・クエヤル下院議員がテキサス・トリビューン紙に話した情報で明らかになった。

・彼の死によって、今年テキサス州のICE施設で死亡した人数は7人となった。リオグランデ・プロセッシング・センターは多角的政府サービスプロバイダーの「ジオ・グループ」（GEO GROUP）が運営しているが、同社はこの件に関するコメントを拒否した。

・遺族はウェッブ郡検視官事務所から死亡の連絡を受けた。連邦機関からの連絡は一切なかったという。アンドラーデ・コバルルビアスは心疾患、糖尿病、高血圧を患っていたが、彼の娘の証言によれば、施設のスタッフは彼に薬を投与しなかったとのこと。

***オバマ元大統領、トランプ政権のイルハン・オマール下院議員への移民当時に関する調査を非難：**オバマは、「大統領やれっきとした政府が、こんな露骨に個人を威嚇する」姿勢を見せるのは、オマール議員の政治的見解のいかにかわらず、すべての米国民を憤慨させる」と述べ、「もしこれが『新たに常態化』すれば、オマール議員だけにとどまらない、米国民全員にとっての脅威だ。将来、どの政党の大統領であっても、同じことを行わないという保証はない」と警告した。

・先週、連邦捜査官がオマール議員のワシントンの自宅を捜索し、携帯電話を押収した。この捜索は、26年前の移民関連の書類申請で、オマール議員本人が彼女の亡くなった父親が虚偽の記述をしたのではないかと勘ぐった調査の一環である。この捜索で、トランプ政権はオマール議員の市民権を剥奪し、最終的には国外追放できるような立件を目論んでいると、ウォールストリート・ジャーナル紙が報じた。ワシントン・ポスト紙によれば、第一期とトランプ政権の時も同じような疑惑が検討されたが、本格的調査を行うには証拠不十分であると判断された。

***トランプは、カリフォルニア州が非市民と疑われる人々の投票を集計に含めれば、州高官たちは「刑務所行きだ」と言った：**トランプ大統領は16日、自分のSNSである「Truth Social」に、連邦政府が「非市民」だとする人々の郵便投票を、カリフォルニア州当局が中間選挙の集計に含めたら、当局者は「全員、長期間刑務所に入ることになるぞ!!!」と投稿した。これに先立ち、米司法省は15日、カリフォルニア州にたいして、約2万人の有権者の市民権の有無を48時間以内に確認するよう求め、それに応じない場合は法的措置を講じる方針を明らかにした。

***テキサス州、ポカ・チカ州立公園をスペースX社に売るのはか？**テキサス・マンズリー誌によると、テキサス州公園野生生物委員会が、キャメロン郡にある海岸沿いのポカ・チカ州立公園（1300エーカー）をスペースX社に売却することを検討していた。議事案によると、同委員会は、中間選挙の2日後の11月5日に、非公開の会議で売却案を審議する予定であった。テキサス・マンズリー誌がその件について問い合わせたら、委員会の広報担当者は「11月の会議で、ポカ・チカの土地の売却は検討されない」と答えた。同誌が、これに関する協議の内容や、イーロン・マスクの関与、何故議題が変

更されたのか、それとも何故棚上げになったのかと質問したが、広報担当官は回答しなかった。情報筋の話では、グレッグ・アボット知事が任命した9人の委員が、今後この売却案を取り上げるかもしれないという。

・去年、テキサス州議会はポカ・チカの海岸の一部の管理権をスペースX社へ移譲した。また、2024年には、州とスペースX社が43エーカーの土地の交換に合意したが、後にスペースX社はそれをやめた。この夏には、魚類野生生物局が、ロウアー・リオグランデ・バレー国立野生生物保護区の715エーカーをスペースX社に譲渡し、その引き換えに別の場所の683エーカーを取得する案を承認した。

その他の国際ニュース

***ウクライナが1000機以上のドローンでロシア攻撃、ロシアのウクライナ攻撃で2人死亡：**ロシア国防省は、夜間のウクライナのドローン攻撃に対し、1015機のドローンを「無力化」と発表した。サンクトペテルブルグのアレクサンドル・ベグロフ知事は、「大規模な攻撃」があり、少なくとも1人が死亡し、5人が負傷したと言った。ウクライナの攻撃の一部はエネルギー施設や技術関連施設を標的にしているようだった。複数の集合住宅ビルや民家2軒が被弾した。レニングラードでは約2万人が停電の中で暮らした都知事が言った。

・キーウへのロシアの夜間攻撃で女性1人が死亡し、地下鉄の駅が被弾、集合住宅が損傷し、3人が負傷した。ザポリージャへのロシア軍の攻撃では女性1人が死亡し、6歳の少女を含む少なくとも2人が負傷した。

***フランスの抗議デモで2400人が逮捕された：**フランスの教育政策や生活費高騰に抗議するデモは週末も続いた。先月にデモが始まって以来最大規模の参加者となり、約140の都市や町で数十万人が街頭へ出た。警察は18日の土曜日以降、少なくとも2400人を逮捕した。

・セバスティアン・ルコルニュ首相は、一部の都市に対し、当局に部分的な夜間外出禁止令を出すように要請したと言った。ローラン・ヌニェス内務大臣は18日に辞意を表明したが、マクロン大統領は同職に留まって事態に対処することを求めた。マクロン大統領は18日のテレビ演説で、17日に発生した暴力行為の多くは「極左過激グループの反乱分子と、それに加わった多数の犯罪者」によるものと非難した。彼は、「略奪を行った者は損害を賠償しなければならず、共和国の転覆を画策した者はその責任を問われる」と言った。

***RSFは少なくとも11人の避難民を殺害：**スーダン・トリビュン紙の報道によると、17日、速報支援部隊(RSF)がチャド国境付近を攻撃し、少なくとも11人の国内避難民が死亡、数十人が負傷した。ダルフル地域政府によると、死傷者の大部分は女性と子どもであった。

***アルバニア警察、デモ隊を攻撃、1000人超を逮捕：**17日、アルバニア首都ティラナで教育省の前で、警察がデモ隊に、ゴム弾と見られるものを発射した。デモは、政府の汚職、雇用不足、教育水準の低さに対する抗議であった。弾は何人かのデモ参加者とロイター通信の記者に当たった。警察の幹部はゴム弾使用を否定せず、「行使した手段はすべて限定的範囲で行った」と言った。彼は、これまで1067人を逮捕し、388人を起訴したと言った。

***インドのコルカタでヒンドゥー教の祭りで群衆殺到事故、19人死亡、25人負傷：**17日、インドのコルカタで開催されたヒンドゥー教の祭りで熱狂した群衆の殺到事故が起き、少なくとも19人が死亡、25人が負傷した。警察によると、会場の外にいた群衆が雨を避けようと走ったとき、一部の信者が転倒し、踏みつけられたという。西ベンガル州のスヴェンドゥ・アディカリ知事によると、被害者はコルカタ医科大学病院へ運ばれた。死者の中には7歳の少女も含まれる。

***エジプトのシーシ大統領、自分の任期が満了する2030年に退任するとし、次世代リーダー育成のための軍事アカデミー・プログラムを提案：**エジプトのアブドルファターハ・アッシーシ大統領は17日、エジプト軍事アカデミーの卒業式で、2030年の任期満了でもって退任すると約束した。彼は、「これは完全に決着済みで、議論の余地はない」問題だと述べ、再び憲法を改正することはないと改めて強調した。

・71歳のシーシ大統領は、2019年に憲法を改正して大統領任期を4年から6年に延長し、3選を可能にし、過去2回の大統領選では複数の野党候補を収監したり、立候補を阻止したりした。元陸軍将軍であるシーシは当時のモハメド・モルシ大統領を失脚させ、その翌年の2014年に大統領になった。

・シーシは自分の後継者育成計画を提案した。応募資格を「40歳から50歳までの博士号も持つ者」に限定し、応募者は軍事アカデミーで30カ月間の訓練プログラムを受けることを義務付けた。

***ブラジルの大統領選、ルーラとボルソナーロの討論会：**決選投票を10月25日に控え、ルイス・イナシオ・ルーラ・ダ・シルヴァ大統領とフラヴィオ・ボルソナーロ上院議員が、初めての討論会で、直接対決する。第一回投票ではボルソナーロがルーラを約2ポイント上回っていた。最新世論調査によると、ボルソナーロの支持率は46.5%、ルーラのそれは45.9%で、その差は調査の誤差範囲内に収まっていた。

***メキシコ、チワワ州の元高官を反逆罪で逮捕：**メキシコ当局は17日、チワワ州のもと司法長官セサル・ハウレギを反逆罪で逮捕したと、エルネスティナ・ゴドイ司法長官が明らかにした。検察によると、ハウレギは今年初め、国境沿いのチワワ州において、必要な法的許可を取らずに、米国捜査官らが麻薬製造の疑いがあるとしてある施設を急襲する「不正規」な作戦に関与したとされる。4月にメキシコシティの米国大使館の職員2人が死亡した米国側が発表した、ロイター通信によると、この2人はCIA（米中央情報局）の工作員であった。

***グアテマラ市で汚職摘発に取り組む弁護士が射殺される：**ロイター通信によると、元検察官で汚職摘発に取り組む弁護士ファン・フランシスコ・ソロルサノ・フォッパが17日、グアテマラ市内のスポーツセンターで射殺された。警察は、この事件に関連して男2人を拘束し、カービン銃型の銃器1丁とオートバイ1台を押収したと発表。

・ソロルサノ・フォッパは、検察庁で刑事捜査を主導し、後には連邦税務当局でも主導的役割を果たし、その間に有力実業家数十人を追訴し、未払い税金の回収を行った。2025年には、ギャング組織「バリオ18」と右派政党「国民希望連合（UNE）」との癒着を指摘した。また、犯罪組織と司法制度との癒着を告発していた。

***ベネズエラの野党連合、亡命中の政治家マチャドへの支持を再確認：**ベネズエラの野党連合「統一民主プラットフォーム」は18日、マリア・コリーナ・マチャドの指導力を「承認し、支持する」ことで合意し、ベネズエラにおける「自由な選挙」の実施を改めて求めた。マチャドは昨年12月から亡命生活をしており、彼女の所属政党はベネズエラ当局が彼女の帰国を阻止していると言った。彼女はフィナンシャル・タイムズ紙に対し、来年7月までに選挙が実施されることを望んでいると語った。

***ケニア、エボラ出血熱7件の感染を発表：**ケニア保健省のパトリック・アモス局長は18日、中年の男性1人がエボラウイルス検査で陽性となったことを明らかにした。これにより、ケニアでの感染者数は計8人となった。アモス局長によると、この男性は、今月初めにコンゴ民主共和国からケニアに来ていた「最初の感染者」(patient zero)から感染したかもしれないという。コンゴ民主共和国ではこれまでに9400人以上のエボラ感染者、4500人以上の死者が報告されている。

***カナダの軍事基地で火災、4人死亡、数十人が入院：**カナダのアルバータ州のカナダ軍のウエインライト基地で17日、野火の急速な広がりに基地も巻き込まれ、軍関係者4人が死亡した。アルバータ州のダニエル・スミス州首相によれば、18日時点で少なくとも39人が病院へ搬送され、そのうち19人が危篤状態である。